

障害者の生涯学習の現状と推進について

文科省 都道府県・指定都市担当者連絡会

2024年2月20日



つだっちです

こんな疑問をもっていないませんか？

なぜ社会教育で「障害者の生涯学習」を推進しなければならないの？



「障害者」だけを特に扱うのはおかしいんじゃない？

「障害者の生涯学習」推進って、具体的に何をすることなの？

時間がないので、
めっちゃ端折ります。

なぜ「障害者」を強調するの？

- そもそも「障害」の概念が、「機能障害」（身体の一部がうまく機能しないこと）だけでは説明できなくなっています。「活動」と「参加」がキーワードです。（特定の人たちだけの話ではありません）
- 「合理的配慮」をしないことも差別だというルールになっています。（障害者差別解消法、障害者権利条約）
- 合理的配慮は、すべての人の十分な「参加」「活動」を実現するための社会の努力です。（社会の努力、社会の変化が求められています）
- 「誰も排除されない」共生社会をめざす上で、障害の問題への取り組みは試金石だといえます。（それが世界標準ってこと）

では、なぜ社会教育で？

- 2006年に国連総会で採択された「障害者権利条約」に、“障害者を包容するあらゆる段階の教育制度及び生涯学習を確保する”（第24条）とあります。
- 生涯にわたって学ぶ機会を確保することが世界標準になりつつあります。



生涯学習のインクルージョン

障害者権利条約

(国連総会で2006年に採択、日本は2014年批准)

第24条 締約国は、教育についての障害者の権利を認める。締約国は、この権利を差別なしに、かつ、機会の均等を基礎として実現するため、**障害者を包容する**あらゆる段階の教育制度及び**生涯学習**を確保する。



包容：インクルードの和訳です。インクルードは、エクスクルード（排除）の反意語。したがって、包容は**排除と反対の動き**を示す言葉なんです！

誰も排除しない世界、
誰一人取り残さない世界を
つくっていきましょう、という国際的合意



その過程で生涯学習が大切な役割を果たすという考え方、
つまり
学びを通してすべての人が社会に参加していくという道筋が
示されているわけです。

教育基本法

第三条 国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

社会教育関係の法律にも、「国民一人ひとりが」「すべての国民が」学ぶことを強調しているよ。



社会教育法

第三条 国及び地方公共団体は、.....すべての国民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して、自ら実際生活に即する文化的教養を高め得るような環境を醸成するように努めなければならない。

社会教育関係の法律にも、「国民一人ひとりが」「すべての国民が」学ぶことを強調しているよ。



「インクルーシブな生涯学習」という発想の根底には、学びからの排除に対する問題意識があります。

- みなさんが思い浮かんだり体験したりした「学びからの排除」には、どんなことがありますか？
- 「学びからの排除」によってどんな不利益が生じているのでしょうか？

例えば、特別支援学校高等部卒業生の進学率は1.9%
(知的障害のある卒業生に限ると0.4%) (2022年度学校基本調査)。どう思う？



兵庫県内で実施した調査結果から

療育手帳所持者を主たる対象の調査としました。

有効回答数は811件。

自由時間に活動をした
いと思っ
ているけど、
実際には
活動に参加
できていな
い人が、全
体の半分も
いる！

		自由時間の活動への意欲が高い			
		活動高ニーズ群	積極的活動群		
現在、自由時間に取り組んでいる活動がない		453名	246名	現在、自由時間に取り組んでいる活動がある	
	停滞群	98名	消極的活動群 14名		
		自由時間の活動への意欲が低い			

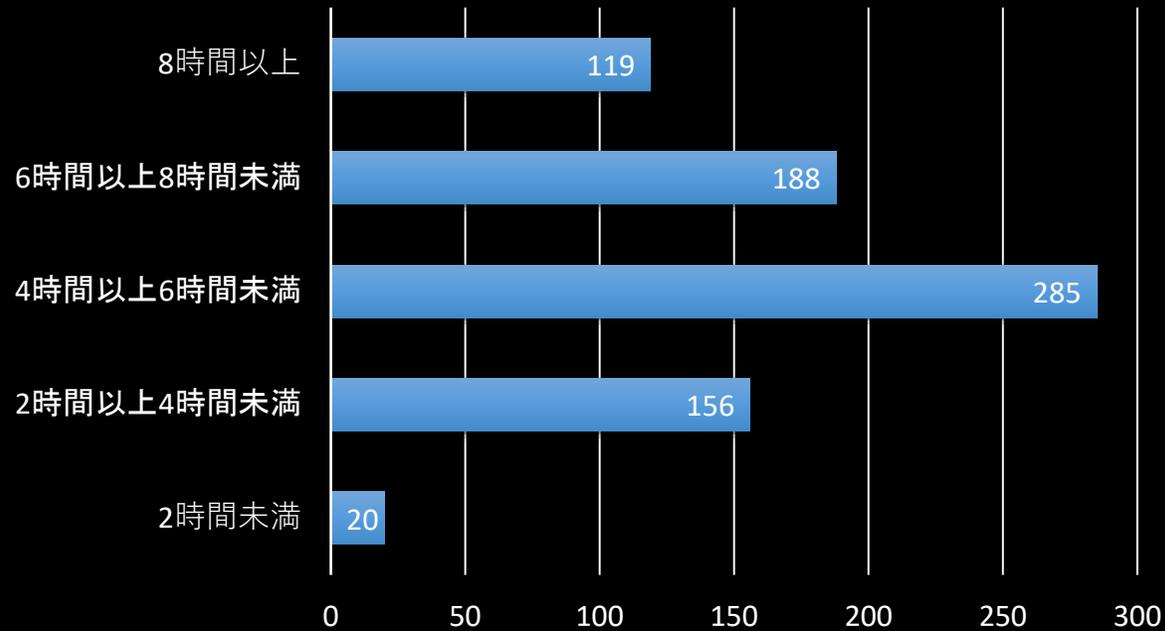
詳細は、「障害者の生涯学習を推進する兵庫県コンソーシアム関連情報」ページからダウンロードできます。

<http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/hyogo-consortium.html>

自由時間1

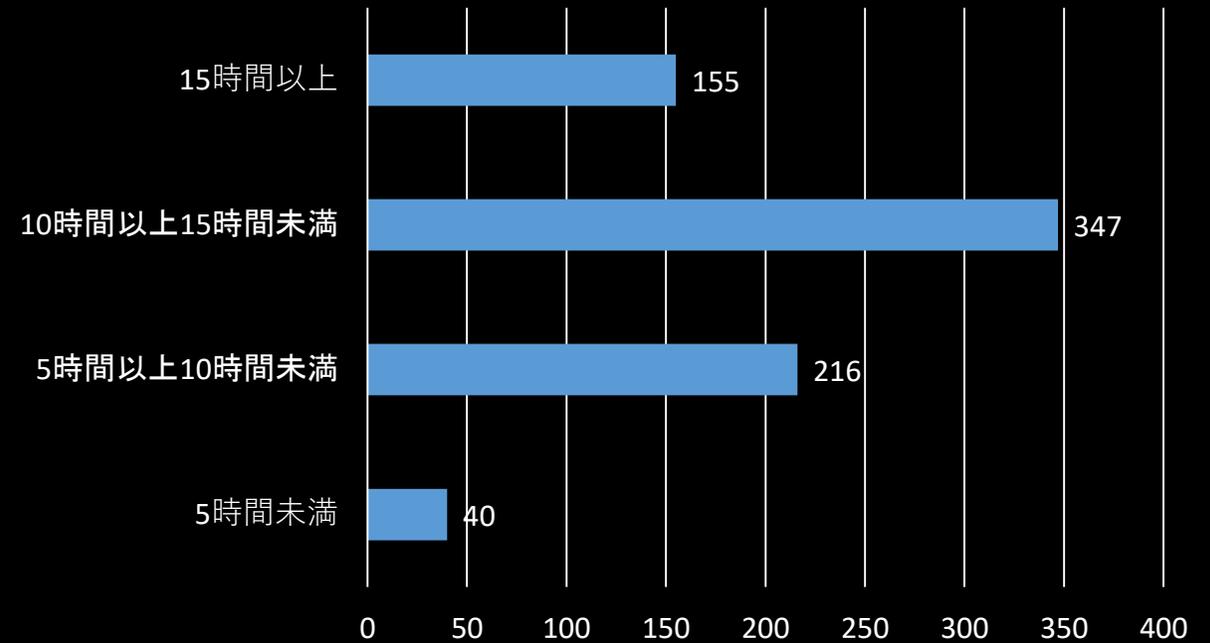
有効回答数 811

平日の自由時間



平日は、自由時間が4～6時間である人が多かった。また、それ以上の人も多くいた。

休日の自由時間

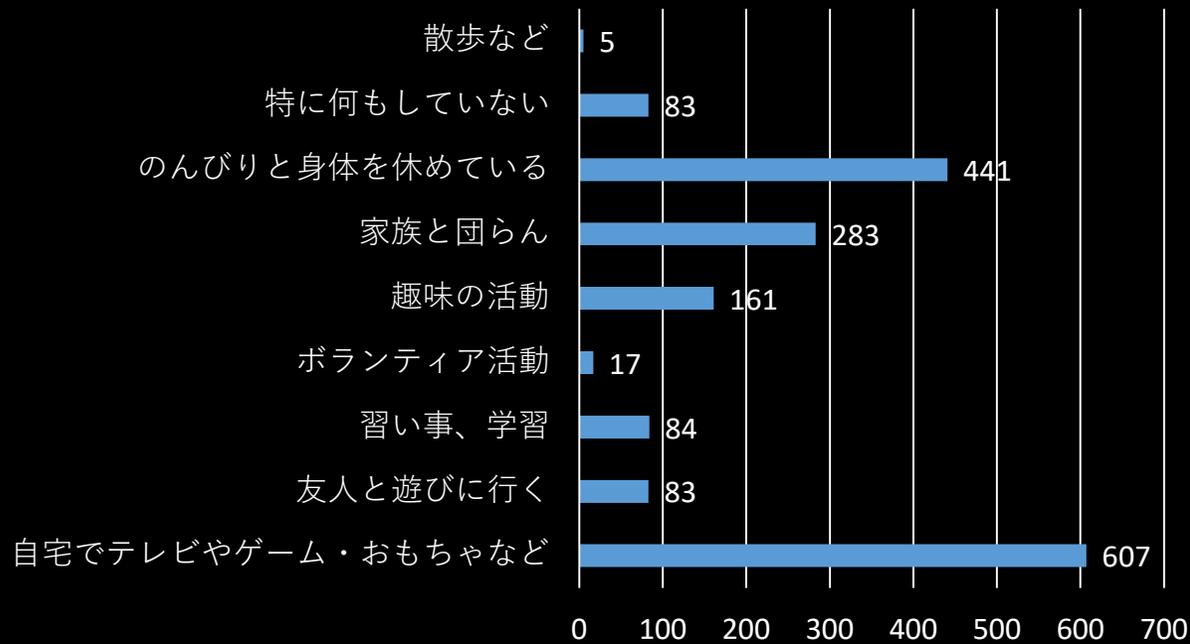


休日は、自由時間が10～15時間である人が多かった。また、15時間以上の人も多くいた。

自由時間2

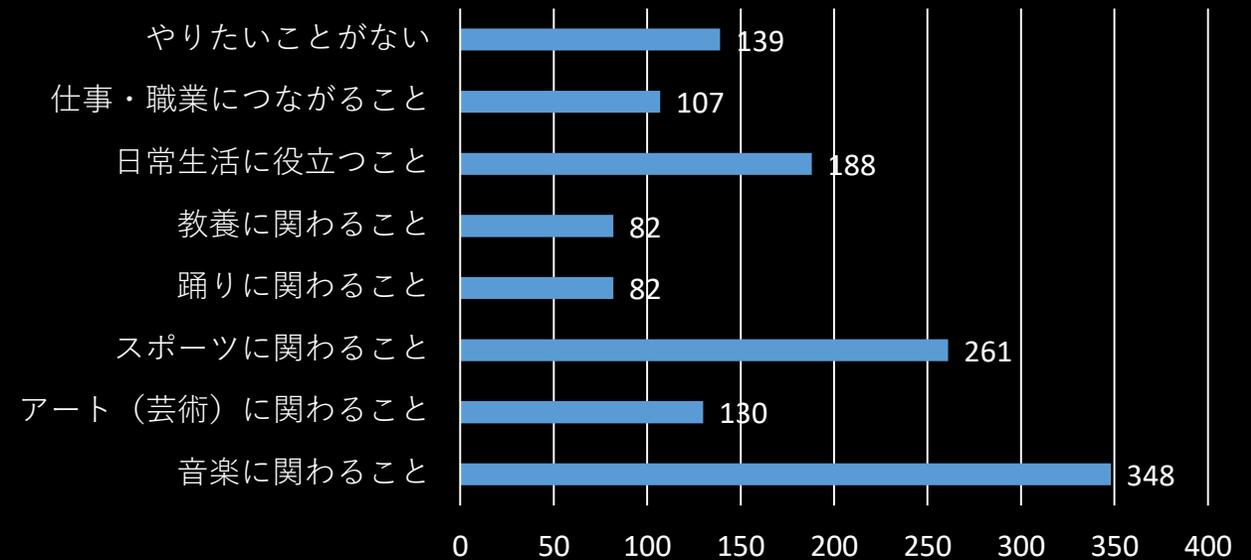
有効回答数 811

自由時間の過ごし方



テレビやゲーム、おもちゃで自由時間を過ごす人が多かった。他方、趣味の活動は18%にすぎず、学習やボランティア活動と答えた回答者も少なかった。

自由時間を使った活動のうち、やってみたいと思うもの、もっとやりたいと思うもの



音楽やスポーツをやりたい回答者が多かった。他方、やりたいことがないという回答者も17%に達した。

自由時間の苦勞

以前は休日はヘルパーさんとお出かけしてましたが、行くところもなくなってしまい、今は家族が行き場所を探し連れ出しています。元々身体を動かすことが好きなので、スポーツサークルがあればいいのにといつも思っています。

平日、退所後暇で困っている。高等部までは、放課後等児童デイをかけもちして通って色々やれていたもので、余計に退屈そうので可哀想。

環境の問題

自宅と作業所だけの世界です。

施設に入ったら、食べて寝るだけです。

同世代の人と交流する機会がなくなり、何か習い事を探しても、通いにくいところが多い。また、情報自体がなかなか入ってこない。公的な場所でサークル的なものがもっとあれば、と常々思っている。

求められる周囲の理解

学びや活動をするにも、障がい特性を理解してもらえない環境にないと難しいと思う。そのためにも、社会全体が障害を理解する必要があると思う。

身近な地域の中で、障害のある人もない人も一緒に参加できるイベントがあれば参加してみたい。

こうした国際的な合意、それに学びから排除
されている人たちの実態を背景に、

「障害者の生涯学習推進」体制が整備されつ
つあります。



障害者の生涯学習推進システムの構築

2017年度 障害者学習支援推進室設置

2018年度 学校卒業後における障害者の学びの推進に関する有識者会議

2019年度 実践研究委託 & コンファレンス実施

2020年度 都道府県に地域コンソーシアム

2021年度 市町村レベル、個別の実践の活性化

文科省の組織整備

政策方針の決定

モデル開発・実践交流

都道府県レベルでの推進

市区町村レベルでの推進

つながる場をつくる

文部科学省「地域コンソーシアムによる障害者の生涯学習支援体制の構築」



コンソーシアム：共通する目的のために、複数の組織が集まって協働する事業体。ここでは、文科省が障がい者の生涯学習を推進するために、都道府県レベルに置かれた事業体。北海道、秋田県、宮崎県、そして兵庫県でコンソーシアムが立ち上がっています。

兵庫県コンソーシアムの取り組み

2020年度～



情報収集・発信

県内の実践に関する情報を収集しデータベースをつくり、アプリで配信。

<https://hyogo-learninglist.glide.page>



兵庫県内で100を超える実践を集め、活動内容や活動場所などを検索できるようにしています。(スマホもPCもOK)

ミュージアムインクルージョンプロジェクト

「障がい者が博物館等公共的な学習資源を効果的に活用するためのモデル開発」

プロジェクト(愛称:ミュージアムインクルージョンプロジェクト)へのご協力をお願い

2021年度、県下の知的障害者を対象に生涯学習についてのアンケートを実施したところ、余暇時間が多いにも関わらず、博物館等を利用した学びの機会にすることが少ないことがわかりました。博物館などは障害を持つ人にとって縁遠い場所と感じられているようです。そこで、2022年度は……

障害のある人にとって、博物館などが身近なものとして足を運び、楽しく学ぶことのできる場になるためにはどうしたらいいかな?ということを障害者と博物館が共に考え、取り組んでいこうとしています。その取り組みにご協力いただけますよう、お願いします。

～博物館インクルージョンプロジェクト～



・博物館は何をしたらいいの?

障害を持つ人(支援者)が館を訪問して、意見をまとめます。その際に館が取り組んでいることや知って欲しいことを調査隊に伝えて下さい。それらを基にどのようにしたら障害者が楽しめるかを一緒に考えましょう。

・わかっててもできないことってあるんだよ

アラ探しや障害者の対応が出来ていないことの調査ではありません。こうしてみよう、でできることがあるはず。障害者の目線と一緒に考えてください。障害者対応って時間もお金をかけなくてもできることがあります。お金もかかって難しいよね? へえ、そうなんだ!という気づきからのスタートです

・誰が調査するの?

この取り組みは「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアムが主体となって行います。調査隊は視覚・聴覚・知的・心身に障害を持つ人とその支援者です。

このあとさらに.....



- なぜ「障害者の学び」に焦点を当てるのか
- なぜ社会教育・生涯学習の領域での取り組みが大切なのか
- という2点を中心にお話ししました。ではいったい「障害者の生涯学習推進」って何をすることなのか、というテーマは、このあとの実践報告を通してさらに考えていきましょう。